

地域とともに歩み…

広報こうし 第200号

旧合志町と旧西合志町が合併して、平成18年3月に創刊した広報こうしは、今月で200号目を迎えました。毎号、多くの人の手と地域の皆さんの協力のおかげで発行してきた広報こうし。懐かしい紙面を振り返ります。



▲歴代の広報担当者

平成22年8月号からは『地ブラ事務局が行く!』と称して合志ブランド認証品の紹介も。



第54号～



第26号～

平成21年4月号から始まった『合志この一品』市内の飲食店メニューや、農作物・加工品・工芸品などを毎月紹介していました。

第18号



平成19年8月号では初の4ページ特集。恵楓園と中学生の交流を取り上げました。



創刊号

平成18年3月創刊号の表紙は合志市と同じ年の赤ちゃん。人気コーナーの間違探しは旧西合志町の広報から引き継ぎ、今でも佐藤峰子さんが毎号欠かさずイラストを届けてくれています。

この頃は『給食レシピ』が好評でした。



第87号



平成25年5月号には1300年に及ぶ合志の歴史が。

第93号

平成25年11月号では竹とんぼギネスに挑戦する子どもたちが表紙に。



第100号



平成26年6月号で100号。表紙の女の子も大きくなりました。

平成27年頃から電子書籍版の配信が始まりました。

第120号



平成28年2月号には10ページにわたり市制施行10周年記念の特集が。ちどりふででは県広報コンクール佳作入賞の報告も。

臨時号

平成28年4月号の表紙は、県広報コンクール写真の部で大賞を受賞しました。



第122号

第179号



市制施行15周年の令和3年2月号は、ドローンで撮影した動画から切り抜いた市の風景を表紙にしました。

第170号



令和2年5月号からは、毎月新型コロナウイルス感染症に関連したお知らせが掲載されています。

第163号



令和元年度県広報コンクールで再び佳作に入賞しました。

第158号



令和元年5月号の『キラッと輝く合志人』は、ふるさと大使を務めるプロボクサーの谷山佳菜子さん。また、『集まれ幸せ100個』はこの号から始まりました。

『食生活改善推進員さんの健康食レシピ』『キラッと輝く合志人』は、平成30年5月号から始まりました。

第146号



平成28年5月臨時号は熊本地震後初めての広報紙。被災の状況や届いた支援の紹介、各種手続きの情報などを8ページにまとめ、発信しました。

私たちが市の情報をお届けしています



みやけ のりゆき
広報官 三宅 宣行

8月から広報官として、合志市役所の情報発信を担っています。以前は、熊本の民間放送局でアナウンサーや記者として、日々のニュースをお伝えしてきました。情報発信にはさまざまな手段がありますが、現在『合志市公式Twitter』の活用にも力を入れています。市内外に向けて、身近な出来事や、本市への興味が湧き、魅力を感じてもらえるような情報を分かりやすく発信したいと思っています。ぜひTwitterをフォローしてください。

公式Twitter▶



みやざき さやか
広報紙担当 宮崎 早香

一市民だった頃、広報紙を見ていたら目に留まった社会人経験者の職員募集。応募してみると採用されて、まさか自分が広報紙を作る立場になるとは思ってもみませんでした。作ることは元から好きでしたが、人と会って取材をしたり、一眼レフカメラを使って撮影をしたり、担当になってから初めての経験ばかりです。今後もより一層、分かりやすい紙面を目指してがんばります。

広報紙の制作風景



毎号印刷会社の担当者と打ち合わせを重ね、デザインなどは専門スタッフの手によって仕上げられています。校閲・製版などを経て、高いクオリティで印刷・製本された広報紙が市民の元へ届けます。